

令和6年度 日本大学 学生 FD CHAmmiT

第4回 スタッフミーティング報告書

日本大学 学生FD CHAmmiT スタッフ一同



自主創造
日本大学

8月6日に日本大学本部にて第 4 回スタッフミーティングが開催されました。今回は本番を想定して、セッション1～セッション3にて日本大学教育憲章をもとに日大の授業について話し合いを行いました。また、それぞれのセッションで班ごとに今回の話し合いの良かった点・改善点などを話し合いました。

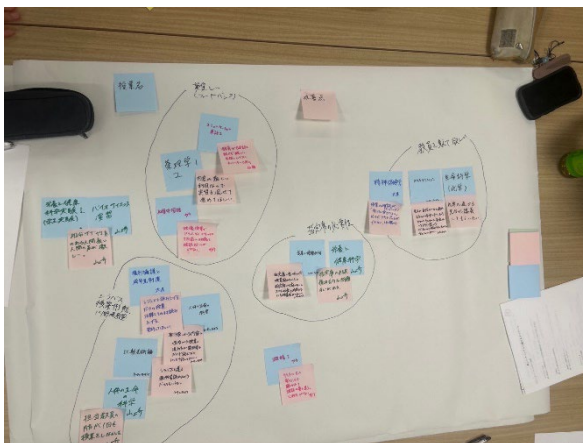
セッション1 『自分が受けて面白いと感じた授業』

セッション1では、他学部同士でグループに分かれ、自分が受けてきた授業で面白いと感じた授業について話し合いを行いました。意見としては、「専門知識を深く学ぶことができた」「興味のある分野について思考したり、実験を通して学ぶことができた」などが挙げられました。



セッション2 『自分が受けていて改善すべき点があった授業』

セッション2では、セッション1と同じグループで、自分が受けてきた授業の中で改善すべき点があった授業について話し合いを行いました。意見としては、「教科書やスライド・レジュメを読むだけの授業」「席を指定されている(なぜ指定するのか理由を知りたい)」「シラバスに書かれた授業形態と違っていた」などが挙げられました。



セッション3 『私たちが日大に望む授業とは』

セッション3ではセッション1, 2で出た意見をもとに同学部同士で望む授業の形について話し合いを行いました。意見としては、「座学での学びを日常生活への結びつきや現役の社会人との会話、実習などを通してアウトプットする機会があるといい」「学生が主体となって取り組める授業がいい」といった意見が挙げられました。



3つのセッションを通して、良かった点は、「付箋の色分けをする場合には、あらかじめ何を描くか決め、忘れないように書いておくことで進めやすかった」「ファシリテーターの人が進んで模造紙の読みやすい位置に移動することでみんなも読みやすい場所に集まることができた」「DP があることで分類分けがしやすくなった」などが挙げられました。

一方、改善点としては、「DP について確認する時間を話し合いとは別に設けることで理解したうえで話し合いを行えるのではないか」「DPについて調べる時間、付箋に書く時間を設けてから話し合いを始めると静かな雰囲気からの話し合いになり盛り上がりなくなってしまう」「アイスブレイクの時点で各学部の特徴を捉えることで話し合いがスムーズに進むのではないか」などが挙げられました。



日本大学ではほとんどの学部は1学部1キャンパスという特徴から他学部の学生との交流が少ない中、より良い教育を目指すため全学部が集まり本報告書を作成しています。一度目を通していただき、日本大学の教育改善に興味を持ち、CHAmmiTに参加するきっかけとなれば嬉しいです。

また、本報告書が学生、教職員、そしてそのほかの日本大学に関わる全ての方々にとって、少しでも参考になれば幸いです。

今回のセッションを通してあげられた良かった点はより磨きをかけ、改善点は修正しつつ、CHAmmiTがよりよいものとなるよう頑張ります！

